

園より（6月） かみつき！ひっかき！

お父さん、お母さんたちがお迎えに来た際に先生から『今日は〇〇ちゃん、お友達にかまれてしまって…』という報告を受けたとき、きっと涙が出るくらいショックで『我が子が痛い思いをするなんて！』と悲しいとともに、おおげさかもしれませんが怒りすら湧いてくるなんてことがあるかもしれません。我が子が被害にあったら『かみつき、ひっかきをする子は何なの！？』と思われるかもしれません。でも…1～3歳くらいの子はかみつき、ひっかきをする子が多いです。（『うちの子はしない』とは100%言い切れません）『誰が』ではなくほとんどみんなやります。

『うちの子は家ではそんなことしませんか…』といったご意見もあるかと思われませんが家ではその通りだと思います。例えば家でお母さんと子どもさんが遊んでいるときに、子どもが『ママ～おもちゃかして～』と手を出されたらすぐに貸しますよね。でも保育園では小さいながらも立場が対等な子ども同士の集まりです。「かして」「やだ」のやりとりがあったとき「やだ」と言われて返す表現として生まれて数年で覚えている言葉も少ない、人生経験の少ない子どもたちの限られた伝える手段の一つが「かみつき」「ひっかき」だったりするので、かみつきがある、手が出るのはある意味仕方がないのです。

では毎日の保育園生活で、ひっかききずやかみつきの跡がないのは何故でしょうか？それは、かみつき、ひっかきが起こる前に『保育士が止めている』からなんですね。しかし保育士だって人間です。時には止めに入って間に合わないこともあります。かまれてしまった、ひっかかれた際には、流水で冷やすなどして、かんだ子には

いけないことを一応伝えて、お迎えの際にはその時の状況、跡や処置などお伝えしています。その際に、かみついた、ひっかいた子の親にはやったことは基本的には伝えません。理由ですが、まず保育園で起きたことなので保育園の責任です。個人差はありますが発達段階によってはごく普通に起こることなので、保護者様に伝えても問題解決にはならないと思っています。ただし、疲れやイライラからくるかみつきの行動が見られる場合、善悪の判断ができる年齢の子がわかっていてケガをさせたとか、発達上心配のある行動が見られる場合にはお伝えします。（特に、疲れやイライラからくる衝動的な「かみつき」「ひっかき」が見られる場合にはご家庭のご協力が必要と思われるケースもありますのでお伝えさせていただきます）

通常、発達上誰でも起こりうることであれば必要以上に伝えることはないかと思っています。例えば「この子、人見知りが激しくてなかなか泣き止まない」「ヤダヤダ期なのでなんでもヤダヤダ言ってます」とお迎えの際に保育士から伝えられたとしたらどうでしょうか？「私はどうすればいいんですか？」と対応に困りますよね。人見知りなどは発達上当たり前で時間とともに治ることなんですから。（これが「立った！」「しゃべった！」「はさみが上手に使えた！」などの次のステップにつながる発達については積極的にご報告したいと思っています）

お迎えの際に「かみつき、ひっかき」があったとき、保育園としては止められなかったことを申し訳なく思っていますが、発達の過程で誰もがやられ、やってしまう可能性があります。極力、未然に防ぐ努力をしますが日常的に未遂は多々起きているという事実を保護者の皆様には知っておいていただきたいと思います。

